

じゅしゅう

盂蘭盆会 内勤

八月十五日、当山の「盂蘭盆会・門信徒総追悼法要」を開催するはずでした。コロナウイルスの影響も和らげられましたので、今年こそは法要を勤めたいとの思いでしたが、なんと台風七号が大阪を直撃するとの予報。前日のお昼まで悩みましたが、参拝の方に何かがあつてはいけませんので、相談の上、中止の判断をさせていただきました。それでも法要が始まるはずだっ



た十四時になると、寺族だけの参拝でお勤めをさせていただきました。昨年から盂蘭盆会に併せて門信徒総追悼法要も併修させていただいております。お申し込みいただいた故人のご法名を読み上げ、お偲びさせていただきますながら、私たちが手を合わせる仏縁とさせていただきます。



読経と法話は住職が行いましたが、その様子は当山のYouTube「浄覚寺チャンネル」で視聴することができます。左記のQRコードからお参りされてください。さて、ご法話でもお話ししましたが、「盂蘭盆」という言葉は「ウランバーナ」というサンスクリット語を漢字に翻訳したものです。日本語では「倒懸」と表され、逆さ吊りをされるほどの激しい苦しみ、という意味だそうです。お釈迦さまは『仏説盂蘭盆経』の中で苦しみの中で生きる私の姿をあきらかにされながら、また『仏説無量寿経』には変わるこのできない私をそのまま支え続けると願われた阿弥陀さまのお心をお説きくださったのです。

https://youtu.be/_yUz0y16B8



第53号
(通算393号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

浄覚寺ヨガ教室

- ・9月20日(水) 10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

☆ヨガマットの無料レンタルもあります。お友だちをお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。

浄覚寺 ヨガ教室

毎月第三水曜日に「ヨガ教室」を開催しております。八月は夏休み中でもあったので、小学生が二人参加してくれました。

終わってから話を聞くと、「とても楽しかったです。次に参加できる時が待ち遠しいです。」と言ってくれました。先生も含めて和気あいあいと行っています。ぜひ皆さまもご参加ください。



たれの人も

はやく後生の一大事を

心にかけて

阿弥陀仏をふかく

たのみまわらせて

念仏申すべきものなり

蓮如上人御文章 白骨章



御文章に聞く(第46回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸浄園著 本願寺出版社

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。前回まで「末代無智章」を勉強してきましたが、今回からは次の「八万の法蔵章」を読んでいきたいと思えます。まずは前半部分だけになります。大意をお伝えします。

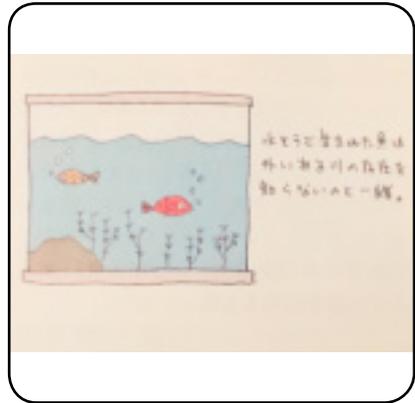
「八万四千の法門」といわれる、多

八万の法蔵章(五帖第二通)
 それ、八万の法蔵をしるというとも・後世をしらざる人を愚者とす、たとい一文不知の尼入道なりというとも・後世をしると智者とすといえり、しかれば当流のころは・あながちにもろもろの聖教をよみ、ものをしりたりというとも・一念の信心のいわれをしらざる人は・いたずらごとなりとしるべし、

よく仏教は机の上では救われたいと言われます。仏法を知識として「分かった」と思ってもそれは救われません。仏法に照らされて、私の本当の姿が見えてきます。そして、自分のこととして聞かせていただくからこそ「この教えがあつて良かった。これから生きていく支えをいただいた」と味わうことができるのです。これが救いなのです。

くの仏法を知っていても、自らの「後世」(後生の一大事)を知らない人は愚者といわねばなりません。たとえ仏法の言葉をまつたく知らない人であっても、「後生の一大事」を知る人こそ智者といふべきである、と言われていきます。ですから浄土真宗では、無理をして多くの仏教の書物を読んで、さまざまな知識を得たとしても、他力信心のいわれを知らなければ、無意味なことと言われます。

仏教語辞典



穢土に對する語。迷い苦しむものが住む穢れた国土のこと。つまり、私たちが住む世界のことをいっている。浄土を知ることで私たちの世界が穢土であることを知ることができる。

穢土

『気になる仏教語辞典』
 著・麻田弘潤 誠文堂新光社
 仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

編集後記

今月も「じゅこう」をお届けいたします。本意ではありませんが、今年の盂蘭盆会も中止とさせていただきます。ご講師の先生にお断りの連絡を入れる中で、過去の「じゅこう」を見直しました。平成三十一年の四月に継職法要を勤めさせていただきました。八月の盂蘭盆会が初めての法要でした。ところがその年も台風で中止。翌年にコロナが始まりましたが、少し収まりましたので何とか開催。その翌年からはコロナの波が八月に重なり、二年連続で中止となります。ようやく今年開催できるかと準備を進めていきましたが、なんとまた台風で中止となつてしまいました。ご講師の花岡先生からは「自然のことは仕方がない、大丈夫。また来年予定しておくから。」と言ってもらえましたが、人生思い通りにいかないものです。(釋法道)

行事案内

10月

日時・九月二十三日(祝) 十四時より
 行事・秋季彼岸会
 法話・和氣秀剛先生(奈良)
 場所・長原浄覚寺
 (なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)

十月二十一日(土) 十四時・十九時
 永代経法要 法話 安方哲爾先生